

## 台東区教育委員会教育長 矢下 薫

昨年度から先行実施しております小学校学習指導要領特別活動編には、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して資質・能力の育成を目指すとあります。

台東区教育委員会では、今年10月に「台東区学校教育ビジョン」を新たに策定し、世界に飛躍し未来を創造する子供を育むため、まち全体を人が成長するための環境として捉え、豊かな文化や歴史、伝統などを活かした教育を推進しています。本ビジョンでは、「まちを愛し、人を愛し、他との関わりの中で自分を大切にする人」を育てたい人間像の一つに掲げており、歴史と伝統に恵まれた地域や様々な人々との関わりを通して、よりよい人間関係を築き、かけがえのない自分を大切にする、自己肯定感の高い児童の育成を図っております。

このような折、本校では、平成30年度から2年間、台東区教育委員会研究協力学校として、研究主題を「様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、よりよい人間関係を築く児童の育成」と設定し、研究を進めて来られました。本校における取組や実践が、多くの学校園で活用されることを願っております。

結びに、園部謙一校長先生をはじめとする教職員の皆様の御努力に敬意を表するとともに、御指導いただきました講師の先生方に心から感謝申し上げます。

## 校長 園部 謙一

新学習指導要領の全面実施を目前に控え、私たち教職員は、児童の「主体的対話的な深い学び」を保障するために、常に自身の授業について振り返り、授業改善を進めることが求められています。その鍵の一つが特別活動における「話し合い活動」だと考えます。

「学級会コーナー」等の環境を整備し、「自分ごと」として捉えられる議題や課題について話し合うことは、直接「主体的な学習」や「対話的な学習」に結び付きます。

一方で、「話し合い活動」を成立させるには、何でも安心して言うことのできる安定した学級経営が不可欠です。この研究を通して一人一人の教師の学級経営力も向上しました。特別活動は、全ての教科・領域で培われた能力を応用・活用する奥の深い領域であることが分かったことが一番の成果です。

最後になりましたが、研究の機会を頂き、2年間にわたり具体的で、丁寧な御指導をいただきました、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 安部恭子先生、共栄大学教育学部 客員教授 今村信哉先生、また、研究について多大なる御指導・御支援を賜りました台東区教育委員会の皆様にも、深く御礼申し上げます。